東急電鉄のバリアフリー ぶーたとあんこの探究新聞

【発行者】
町田市立
鶴間小学校5年
大久保由良
長谷川笑里
【発行日】
2024.8.13

南町田
グランベリーパーク駅

視覚障がい者のためのバリアフリー化 「点字」・「点字ブロック」の大調査

知っていましたか？

SDGs目標⑪
「住み続けられるまちづくりを」

それは「だれ一人取り残さない」を目標に、高齢者や障がい者にも住みやすい街を実現するという考え方です。

私達は、学校の授業で視覚障がい者の方のお話を聞くことができました。

当たり前にやっていることが、目が見えないということでどれだけ不便になるのか、とてもよく知ることができました。

町の中で「バリアフリー」という言葉をよく見かけますが、実際に自分達が体験し、どう感じるのかを考えてみようと思いました。

はじめに

点字は視覚障がい者が文字を読んだり、書いたりするために使う文字です。6つの点を組み合わせて1文字を作るんです！知ってましたか？

点字の構造

「さ」を表す

点字ブロックの正式名称は「視覚障がい者用誘導ブロック」といいます。

今から60年ほど前に発明されたもので、進行方向を示す「線状ブロック」と、注意するべき場所を示す「点状ブロック」の2種類があるんですよ。

線状ブロック

点状ブロック

点字ブロック

視覚障がい者の方が階段を降りた時に、優先席のホームドアに近くなるように誘導できるように点字ブロックが設置されていて便利だと思った。

南町田駅で発見！

2段手すり

子供と大人の両方が使いやすくなっている。

↑上が大人用
下が子供用

多言語の看板

4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）が書かれている。

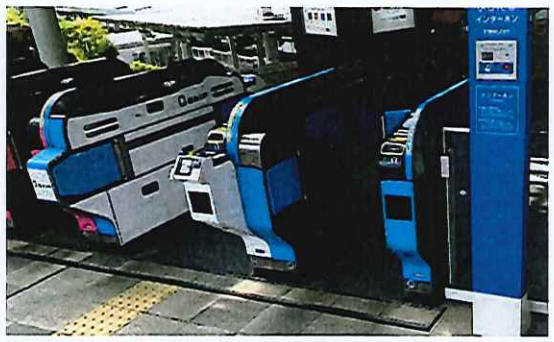
外国人がどこに何があるか分かるようにしている。

ひろーい改札口

改札口が、車いすやベビーカーでも使いやすいように、幅は広くなっていました。

私達が測ってみたらふつうのが63cmで幅が広いものは98cmでした。

足が不自由な方が通る時にも杖がぶつからなくて、とても便利な改札だと思いました。



体験して、発見！そして伝えたいこと

バリアフリーの取り組みって色々あったね

点字や点字ブロックって、とっても便利なものだよね

点字ブロックで誘導されている券売機が4台中1台しかなかったね。障がい者用にもう少しあればなあ

そうだね。その1台だけ券売機のお札投入口の点字がツルツルになってたんだよね。便利で利用者が多いものほど、メンテナンスが重要かもね。

あと、ホームの点字ブロックが待合室につながってなかったのが気になったかな。

夏はとても暑いから、涼しい待合室で待てるようになると、すごくうれしいよね。

自分が体験してみて、初めて分かることもあるんだと思いました。
自分たちが気づいたことを鉄道会社の方に伝えられる仕組みがあると、みんなが気づいてあげられるかもしれないね。

編集後記

夏休みの自由研究で鉄道の新聞を作ろうと決めた時にすぐにバリアフリーについて書いてみようという事になりました。

実際に歩いてみたら、いつもは気にしていないけど、いろんなところにバリアフリーに役立つものがあった。

視覚障がいの方を見つけたら、点字ブロックの上を歩かないよう注意して歩いたり、声をかけてお手伝いしてあげられることがないか、気にしてあげようと思いました。